



●シマアジは釣り人なら一度は釣ってみたいあの魚



●シマアジを掛けてからは竿を脇に挟んでしっかりとホールドし、竿をある程度立てた状態でリールを巻く



●小型のシマアジも鋭い突っ込みを見せる



▲当地では周年狙える人気ターゲット



●とにかく刺身が絶品



▲釣りは布良瀬の水深20～25メートル前後



▲コマセはオキアミ。コマセカゴはFLサイズが標準、オモリ60号



▲シマアジは海面でバレることもあるのでタモに入るまで油断できない

●24キロのシマアジ。南房のシマアジ釣りは冬も多彩な魚種を交えて楽しめそう



●船荷仕掛けはハリス6号、全長2.2メートルの2～3本バリ。ウイリーや魚皮などさまざまなタイプがある

近場で釣れてゲストも多彩
南房相良瀬のシマアジ好調

南房相良瀬港出船 撮影：本誌編集部

多彩なゲストが釣れる布良瀬

布良瀬のシマアジ狙いでは豊富なゲストが釣れるのも魅力の一つ。当日はアタリが多く、根魚や青物など様々な魚が交じった。



コブダイ



メイチダイ



アカハタ



イシダイ



イシガキダイ



ヒゲダイ



カサゴ



スマ



カワハギ

●底から5～6メートルまで誘い上げて探る



シマアジは強烈な引きと多くの釣り人が賞賛する美味で人気のターゲット。ここ数年は近場の南房外房エリアの沿岸でも気軽に狙えるようになった。周年シマアジ狙いで出船している南房相良瀬の松丸では、冬場は布良瀬の水深20～25メートル前後を狙い、0.5～1キロ級を主体に2～3キロの良型交じりでトップ5尾前後と好模様。ウイリー仕掛けを使うオキアミコマセのシャクリ釣りで、仕掛けを着底させた後根掛かりしないよう素早く底を切り、5～6メートル上までシャクリ上げていく。ゲストが多彩なものこの釣りの魅力で12月中旬の取材日はメイチダイやイシダイ、ヒゲダイ、スマなど多彩な魚が釣れて楽しませてくれた。(詳細は46ページ参照)



●南房相良瀬港・松丸 西藤 裕船長